

平成 25 年度 第 5 回 在宅介護委員会会議報告

日程：12 月 18 日（水）

場所：薬国会議室

時間：20：30～

出席者：小田村元昭、中川勝憲、永崎一樹、中村三喜雄、徳永修（順不同、敬称略）

欠席者：河野吉昭、山下幸子

議題：●報告事項

- ・10 月 25 日（金）：薬の健康週間イベント

「介護予防と認知症を考える講習会」会場にて、在宅訪問の業務をアピールするコーナーの設置

- ・協力者：蒲池、山下、川尻

- ・11 月 2 日（土） 地域医療学会 東彼文化ホール（県薬在宅委員会）

- ・発表：徳永

- ・11 月 12 日（火）：第 3 回 総合病院緩和ケア研修会

- ・参加者：5 名（小田村、中村三、永崎、池田、徳永）

- ・総合病院緩和ケアチーム（医師、看護師、理学療法士、ソーシャルワーカー）との GD

- ・麻薬に不安を持つ事例の検討

- ・11 月 18 日（月）：県北緩和医療学会参加

- ・薬剤師の在宅参加に関して、まだまだ認知されていない。

- ・12 月 18 日（水）：第 1 回 薬看連携研修会

- ・訪問看護から、困難事例の検討

- ・今後の連携のあり方に関して

- ・参加者：33 名（内、薬剤師 16 名、看護師 17 名）

- ・川添哲嗣先生の講演に関しては、県在宅委員会に相談

●今後の予定

- ・「在宅推進アクションプラン」講習会…未定

●検討事項

- ①薬看連携研修会の今後

- ②その他

《検討事項》

●薬看連携研修会の今後

- ・看護師からも、この研修会を継続的に行う事の提案あり。年に 4 回、3 ヶ月毎の開催ではどうかと話がまとまる。2 月、5 月、8 月、11 月の予定。

- ・症例検討会の他に、薬剤師と訪問看護師の協議会を並行して行う。半年に 1 回、次回は、6 月頃に行う

予定。

- ・症例検討に関しては、薬剤師、看護師、交互に症例を出し勉強する。緩和、認知症の症例を中心に勉強していく。

- ・医療系のケアマネが少ない。

- ・将来的には、在宅医も含めて研究会が出来ればよい。薬剤師も訪看も医師の指示により動くことが出来るため。

★印象としては、訪看の困難事例に関して、薬剤師が方法を提案した形の研修会だった。訪看においては、服薬コンプライアンスの対応に関しメリットがあったと思う。薬剤師側においては、面識を作る場としての価値はあったと思う。また、薬剤師の介入が必要である事への認識も少し出てきたのではないかとと思われる。

●その他

- ・在宅協力薬局のリスト更新

●次回の委員会の予定

- ・来年 1 月予定